河川流下能力向上緊急対策事業費

1. 事業概要

「河川流下能力向上緊急対策計画」(令和元年度~3年度)に基づき、堆積土、支障木対策および渓流保全対策工等を着実に実施し、洪水時の土砂堆積による洪水被害の防止と軽減を図る。

2. 事業内容

①流下能力向上対策 【R2年度予定 約80km、約80箇所】

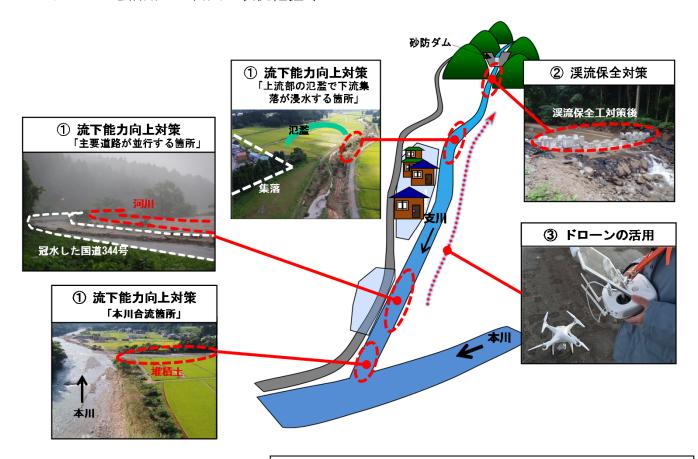
洪水被害の発生状況を踏まえ「上流部の氾濫で下流集落が浸水する箇所」「主要道路が並行する箇所」「本川合流箇所」において堆積土、支障木対策を実施

②渓流保全対策 【R2年度予定 15箇所】

下流で実施する流下能力向上対策の効果を十分に発現させるため、上流域からの土砂流出を抑制する渓流保全対策を実施

③河川状況把握へのドローンの活用等 【R2年度予定 約80km】

ドローンを活用した河川の状況把握等



県土整備部河川課 河川管理担当 TEL 023-630-2611

水害•内水被害軽減緊急対策事業費

1. 事業概要

令和元年10月に発生した台風第19号による豪雨災害を受け、頻発化・激甚化する浸水被害に対応するため、県が管理する排水樋管(496か所)の操作最適化や操作環境の改善、水防活動支援体制の強化等に緊急的に取り組み、内水被害の軽減を図る。

2. 事業内容

- (1) 浸水要因分析を踏まえた総合的な内水対策の検討
 - ・ドローンによる内水被害発生箇所とその周辺の地盤高等の把握
 - ・浸水面積、湛水継続時間のシミュレーションの実施
 - •河川管理施設以外の排水路も含めた総合的な対策の検討
- ② 排水桶管操作の最適化
 - ・最も被害軽減効果の高い操作開始水位の検討、操作手順書作成
- ③ 排水桶管の操作環境の改善
 - ・操作員の安全性確保(樋管の操作動線の確保)
 - ・操作水位の視認性向上(水位標・夜間照明の設置)
- ④ 水防活動支援体制の強化
 - ・初動対応のための可搬式排水ポンプの導入配備
- ⑤ 内水被害軽減緊急対策の効果の検証
 - ・排水樋管操作員からの聴取による操作環境改善効果の検証
 - ・排水ポンプ実働訓練による想定した配備効果の検証



▲ 台風第19号による内水被害

対策•効果検証

① 要因分析・総合的な内水対策検討

ト・ローンを活用した現況調査・ シミュレーションの実施



道路管理者、水路管理者等への改善提案

樋管操作における課題の解決

② 樋管操作最適化



操作開始水位の検討

樋管操作の無人化※

③ 操作環境の改善

堤防除草や支障木伐採による 樋管の操作動線の確保 水位標・夜間照明の設置

※ 長寿命化対策として更新時に改良

被害軽減・避難時間の確保

④ 水防活動支援

可搬式ポンプの迅速な配備

⑤ 効果の検証

- ▶ 操作環境改善効果検証
- ▶ 排水ポンプ配備効果検証
- ▶ 操作最適化、環境改善を必要箇所に拡充
- ▶ 可搬式ポンプの全公所への配備・増強

県土整備部河川課 河川管理担当 TEL 023-630-2618